

礼拝プログラム ※注の導きにより変わる事があります

- 黙祷 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 25番
- *交読文 65番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 176番
- 礼拝のための祈り 働き人 渡辺和歌子
- 賛美 311番
- メッセージ 収穫感謝礼拝 肉に蒔く人と霊に蒔く人の子孫比較(ガラテヤ 6:7-9)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 308番
- 献金感謝の祈り パスター
- 報告と歓迎
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

祈禱課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- 終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

蒔く人に種と食べるパンを備えてくださる方は、 にも蒔く種を備え、それをふやし、 の義の実を増し加えてくださいます。 は、あらゆる点で豊かになって、惜しみなく与えるようになり、それが を通して、神への感謝を生み出すのです。(2コリント9:10-11) まちがってはいけない、神は侮られるようなかたではない。人は自分のまいたものを、刈り取ることになる。すなわち、自分の肉にまく者は、肉から滅びを刈り取り、霊にまく者は、霊から永遠のいのちを刈り取るであろう。 は、善を行うことに、うみ疲れてはならない。たゆまないでいると、時が来れば刈り取るようになる。(ガラテヤ 6:7-9)

涙をもって種まく は、喜びの声をもって刈り取る。種を携え、涙を流して出て行く は、束を携え、喜びの声をあげて帰ってくるであろう。(詩篇 126:5-6)

本日、収穫感謝祭は、主が与えて下さった大地の実りを感謝し、主を喜び祝う日である。主は実に、色々な種類の実りを結ぶ木や草を創って下さり、それぞれには独特の性質や味、効能がある。おりに叶った時期と場所に、見合った種類の種を蒔き、水をやり、よく手入れするなら、豊かな、良い実を結び、適切な時に収穫するなら、良さ収穫物が手に入るが、あさってな時と場所に、見合わない種を蒔いても、また、水やりや手入れを怠っても、良い実りは結ばない。そして、適切な時期に収穫しないなら、せつかく結んだ良い実も、だめになってしまう。

私達は「神の畑」である、と聖書に書いてある。(1コリント 3:9) 農夫たちは畑という限られた領域の中で、いかに有用な実を多く結ばせるかを考え、種を蒔き、水をやり、実ば結ぶまで日々努力し骨折っているのと同様に、私達も、この人生という限られた時間・領域・能力の中で、いかに有用な実りを結ばせるべきか、そのために、どこに何の種を蒔いてほねおるべきかをよく考え、そして実をむすぶまで努力すべきである。

「自分の肉にまく者は、肉から滅びを刈り取り、霊にまく者は、霊から永遠のいのちを刈り取る」(ガラ 6:8) 「肉」とは、神を除外した人間生来の考えや力、罪に傾く性質全般で、肉体が死ねば滅びる。「霊」とは、神を知覚し交わる事の出来るいのちであり、それは肉体が死んでも存続する永遠のものである。私達は肉に蒔くか、霊に蒔くか、そのいずれかに蒔いたものの実りは、自分自身が食べる事になる。そればかりではない。私達が蒔いた種の実りは、周りの人達や、そして自分の子々孫々も食べる事になる。何気なく蒔いた種が、実は後々の歴史に、雪だるま式に大きな影響を及ぼすものである。今回、肉に蒔くか、それとも霊に蒔くか、その違いによっていかに大きな違いを後世に生み出したか、二人の人物の歩んだ人生と、その後の子孫達の有様から見て行きたい。

アメリカ・ニューヨークの社会学者が、父親が子どもと後の世代にどのような影響を及ぼすかを調査するために、二人の人物を選び、その子孫達がどうなって行ったかを追跡調査した。調査対象に選んだのは、18世紀に生きた「マックス・デューク」、もう一人は「ジョナサン・エドワーズ」である。マックスは、オランダからの移民で、大酒飲みの乱暴者で、妻ともども人生に主義主張のない人物だった。もう一人、ジョナサンのほうはイギリスからの移民で、牧師で神学者であり、彼は同じ信仰を持った女性・サラと結婚し、二人は力を合わせ信仰生活を営んで行った。彼らはそれぞれの人生を歩み、子孫を生んで、それぞれの人生を全うした。年月が経って、彼らの8代目の子孫を調査した所、実に興味深い結果が出た。

マックス・デュークスの子孫は、計、1240人になった。彼らを調査すると、住所不定者が310名、窃盗常習者が63名、受刑者が130名、乳児死亡した子が300名、先天的異常者が400名、そして貧窮者が30名いたという事である。

一方、牧師として信仰生活を送ったジョナサンの子孫は、マックスの子孫とは全く異なっていた。彼の子孫を男子に限って調査した所、8代で730人の男子がいた。マックスに比べるなら少ないかもしれないが、その内、大学総長になった人が16名、医者になった人が60名、大学教授が160名、裁判官が30名、軍人が76名、牧師・宣教師になった人は、300名、文学者になった人は60名、連邦議会の議員になった人が3名、弁護士になった人が110名、そして副大統領になった人が一人、という事である。

主は言われる。『わたしを憎むものは、父の罪を子に報いて、三、四代に及ぼし、わたしを愛し、わたしの戒めを守るものには、恵みを施して、千代に至るであろう。』(出エジプト記 20:5-6)

マックスの子孫は、いかに多くなっても、彼らが主に憎まれる歩みをするなら、その呪いが子に、三、四代に及んでしまう。しかしジョナサンのように、御言葉に歩み信仰に歩むなら、子孫は祝福されるのだ。人は、「神の畑」である。人の目では、どうしてもその人一代の人生しか見られないが、主は、人が何に種を蒔き、その子、孫、ひ孫へと、枝分かれ分化して行く様を見ておられる。

「自分の肉にまく者は、肉から滅びを刈り取り、霊にまく者は、霊から永遠のいのちを刈り取る」(ガラ 6:8) ジョナサンのように、御霊に蒔き、子供たちを信仰と御言葉で教育し、子々孫々榮えて行く皆さんでありますように！イエス様の名前によって祝福します！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝
食事/フェローシップ 12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:30～

水曜集会

1部 13:00～
2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター：林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストークタワー大通公園I-201
TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



YouTube